

校訓
明 信 霸
朗 念 氣



第9号
 発行 県立富士宮北高等学校同窓会
 北嶺会
 静岡県富士宮市大宮 2300 (北高内)
 電話 <0544> 27-2533 (代)
 編集 北嶺会 広報部
 部長 井出元一



着任挨拶

学校長 宇佐美雄司

望月軍四郎先生の郷土愛と御両親への報恩感謝の尊いお心から生まれた「ひばりが丘」の広大な学舎、北嶺会員一万余の心の故郷

北高、日本一の緑に包まれた学園、朝な夕な霊峰富嶽を仰ぐ聖域、県立富士宮北高等学校四十五年の歴史は燦然と輝く青年の躍動の足跡であります。

覇気、信念、明朗の校訓を基に、社会に出ては、亭亭たる大木に育ち行く北高生の育成に身血を注がれた諸先生・諸先輩の偉業を偲びつつ赴任してまいりました者でございます。



(昭和13年頃の中央並木道) 雲雀野や銀杏植えゆく学童ら (たけし)

「岳南に人材を」と創立を決意された望月軍四郎先生の御遺徳が、充分に発揚されますように、北高の舵取をやらせていただく所存でございます。

使命感に燃え、真摯に教育に邁進される北高教職員七十五名、北高に学ぶ誇りと責任を胸に抱きつつ、学習に、スポーツに没頭する二〇〇名の生徒諸君は、北嶺会員の皆様方のご期待に必ずや沿うものと確信しております。

半野に生を受け、岳麓に暮らす私は、岳南の人材を発掘し、明日のために鍛えゆく充実した毎日を送らせていただければ、人生の喜びこれに過ぎるものがございます。

私達は、この美しい自然と豊かな風土に恵まれ、この岳南の地域において、多くの血縁、地縁につながる人たちが、混然とした社会生活を営んでおりまして、この岳南の自然と風土は、私たちに与えては、遊びを通して、自然愛、美的情操、人間愛を養う豊庫でもあります。

また、私たちは、固く結ばれた人々とのつながりの中で、古来先輩から、経験によって培われた生活の知恵や、地域に伝わる貴重な伝統文化を継承するとともに、多くの大切な生き方や、生きがいや学びとつとめてきております。

ところが、今日のような複雑な社会で、それぞれ、社会的役割を担って生活を営んでいる私たちは、自分の成長をより良いものとしていくうえで、たえず、新しい知識・技術を習得したり、変化に富んだ状況に対応できる柔軟な発想をすることが常に求められております。

これらの問題解決のためにも、わが北高生が、生涯にわたって学習を継続し、学生の本分を守り、青春の清い汗と涙を、この北高の教室とグラウンドで発散することを強く期待しているのでございます。

学園内三三〇本におよぶ桜、いちようのすばらしい並木の下を行き交う時、北嶺会員諸兄、第一回の大先輩の方々が、四十五年前に植えられた高さ一米の苗木の成長が現北高への無言の教を垂れておられると思っております。四十五年前に、無心に植えられた少年の心を、いつまでも忘れないことこそ、北高第一歩の朝の私の心でございます。

新会員のみなさんに

三興製紙株式会社
 技術顧問 渡辺延治



(これは去る二月二十九日北嶺会入会式の記念講演の要旨です。文責在筆者)

このたびは北高卒業お目出度う。私は昭和17年度卒業の者ですが、皆さんの同窓会入会に当りひとことお話し申し上げたいと存じます。

母校の思い出

久しぶりに訪れた母校が、年月の流れを刻む、いろいろの変わり様に、しばらくは校庭に佇みました。

私達は日支変の直後、昭和13年入学したのですが、現在立派に整備されているあの四百米トラックのあたりは一面の荒地で、中央に斜めに走る深い谷があり、春から秋にかけて色々な野草と花が咲いていた。軍事教練の間には野いちごを食べた事もあった。私達は放課後モッコかきで土を運び、グラウンドの整備のお手伝いをしたものでした。

職業について

私達の青春時代は第二次世界大戦、終戦、戦後の混乱期でした。従って私達工業科一期生50名に限って言えば、専攻の応用化学以外の職業、即ち大学教授、医

師、大企業の重役、公務員、土建業、自営店主、サラリーマン等々各種の仕事をしていました。

終戦後の就職は極めて難しく、ともかく生きる為めに就職したわけで、今になってみると、それが必ずしも悪いとも言えないように考えられます。

未知の可能性に

学校ではいろいろのテストで皆さんの評価をして来たと思えます。その評価自体は正しくても、これで全部の評価を示すものではございません。それは皆さんが、未知のものをたくさん持っているからです。時にはこれからかくれた能力が出て来る人もいます。皆さんはすべて未知数であって、これから新しい自分を発見し、才能を伸ばして行く過程にあると思えます。「俺はどうせ才能がないんだから」とか「頭が悪いんだから」と言って自分を捨て、未知の可能性を棄ててはいけません。

自信をもとう

人間は何か仕事でも勉強でもスポーツでも没頭しているうちに、その人の性格が徐々に変わって来るものです。例えば人前で話す事など出来なかつた人でも、その仕事の立場上どうしてもやらざるを得ず、話をしているうちに自信を持つようになり、性格も変わって来るという事が実社会では多くあります。

皆さんの頭は極めて柔軟で、何にでも適合出来る年令です。自分の決めた道、就職も進学も、自信を持ってやってみて下さい。うまく行くかどうかは、ずっと先の事です。

進学する人に

学校は学業の場であるから、その道の専門知識の取得は絶対必要です。然し知識をコンピューターのように詰め込むだけでは意味がない。知識を如何に使うか考え方が大事です。その為には専門以外の本を読む事も大切で、大いに遊ぶ事も必要です。私は大学は人格形成の場にしてほしいと思えます。実社会では学力以上にその人の人柄が大切だからです。

タフになれ

私の以前居りました大会社で東大卒の人を四名採用しましたが、一年のうちに三名が辞めていきました。この辞めた技術系の三名は殆ど現場作業をやらせられていた過程で、自分のえがいていた姿と現実との違和感に耐えられず去って行ったのです。家庭は大学教授或は大会社の部長を父にもつ恵まれた環境の子弟でした。将来幹部となる者は、油にまみれて現場の実情を体得する過程がどうしても必要である。ここで参って仕舞うては、如何に東大出の優秀な人でも使えません。

心の窓を開こう

最近の企業ではグループ活動が重要視されていきます。これは個人の力の和よりも以上のものが、集団討議による全員参加の仕事で得られるからです。知識以上に人と調和する人格が大切です。他人を愛する心が本當の知識を伸ばしてくれるのです。

世の中には常に変化しています。めまぐるしく変わっています。この変化に対応出来ない人は敗れ去るので、常に心の窓を開いて変化に即応出来る余裕が必要で

ひとの意見をよく聴こう

この世の中は集団社会です。自分だけで仕事は出来ません。まして社会に入れば、人と人とのつながりの中の一人です。こうした集団の中で自分の力を発揮する事は大変です。背伸びし過ぎない事です。先程校長先生の挨拶の中にあつたように、ひとの考え方、意見をよく聞いてやる事です。そうすれば、あなたの意見や考え方も受け入れられるようになります。先程の知識のコンピューターのような人間になると言つた事はこのことです。

北高の校並木を四十年前

誰も想像出来なかつた様に皆さんの将来も予測出来ません。健康に注意して未開発な自分の開発への第一歩として、生き生きとタフに生きて下さい。

(編者注) 同氏は旧制桐生高工(現群大)卒業後大昭和に入社、同社富士、吉永工場を経て大王製紙専務取締役その後現職活躍中

着任のご挨拶

教頭 伊藤 寅次



玲瓏高き富士の嶺を仰ぎつつ、キャンパスの桜花爛漫と咲き誇る白いトンネルを通じて、静岡商業高校より、その名も高き富士立富士宮北高校に着任いたしました。本校は大規模高校のため、本年度より複数教頭制であります。

前任校と比較して喫緊したことは、第一にキャンパスで二倍強の面積を有し、且つ専用の硬式野球場・四百米のトラック・六面のテ

ニスコートなど大学的規模であること。第二は秀麗富士を背景に、花樹・常緑樹・紅葉樹が豊富で、野鳥の種類も多く、国立公園内に教育施設があつて、抜群の教育的環境であること。第三は進路成績が顕著であること(国立大学に二五名、私立大学に二〇三名、就職関係でも有名企業に多数合格していること)。第四は部活動の盛んで、優秀な戦績を挙げていること。新年度が開始して一カ月であるのに、柔道個人で東海大会優勝・棒高飛びで県大会優勝・卓球大会で団体・個人共に優勝。文武両道に徹した老舗の高校である。

さて、昨年東ドイツ・ペ

頑張る各部

柔道部の快挙

九五キロ超級

全国大会出場権獲得

高校総体東部予選

二階級で制覇

ここ数年柔道部がメキメキと成績を上げて来た。四月十一日愛知県スポーツ会館で、第十四回全日本新人体重別柔道選手権大会東海地区予選が行なわれたが、三年の植松憲雄君が九五キロ以上重量級で優勝した。

この大会は高校、大学を通じて十七才から二十一才までの選手が参加、愛知、三重代表と対戦し、これを破って全国大会出場権を獲得した。

次いで五月九日第三〇回県高校総体柔道競技東部予選(個人の部)が御殿場高校で開かれ、三十四校から総勢三百人が参加した。熱戦のすえ軽重量級と重量級で優勝、中量級と軽重量級で夫々三位入賞をはたした。軽量級五位、柳田康次、中量級三位、水口昌彰、軽重量級一位、渡辺将一



故郷は遠きに在りて思



ルギー・アメリカ合衆国の高校教育事情を視察する機会を得ましたが、富士宮北高のようなトータルな教育施設、環境を保持する高校は皆無で、それは世界一と言えよう。東ドイツ・ベルギーでは校舎や体育施設を二校で共同利用し、運動場の面積も北高のテニスコート程度であります。ベルギーで一番古いホテル高校(職業高校は各種学校化されている)は、当時の富豪の個人の家を改造したもので、馬車の回った中庭は生徒の休憩所となり、それを囲んだ二階建ての部屋と地下室が教室や実習場となつていて、全く高校とは思えない昔のままの外観である。(一クラス二十名程度だから、個人住宅を校舎として代用できる。しかし二カ国とも教育施設は貧弱なところが多いが、実力主義を採用し、小学校より落第制度がある)

うもの」と言われていたが、一万一千有余の先輩が北高の学び舎に集いきて、覇気・信念・明朗の校訓を胸裡に刻み、青春の魂を燃焼させて、ああ人生の朝はらけと校歌とともに大切に取った栄光の数々の一こま一こまを回想されていることと推察いたします。このような回想や後輩による温かい人間関係の絆や母校愛となつて、北高の歴史の礎を確かなものにしていくのです。北高を担う私どもの長い歴史と重厚な伝統からすれば、微々たる力に過ぎませんが、しかし一日一日の一こま一こまが北高の歴史を綿々と綴っているのです。

皆様の母校へのご支援を渴望して挨拶といたします。

新井校長を送る

北嶺会 井出元一

新井前校長と初めてお会い願ったのは、昭和五十四年である。その後五十五年春の野球部甲子園出場とか、同年夏の関東北嶺会総会又は毎年開かれる本会総会等、折にふれてお近づき願えた。

このたび先生が北高を去られるに当り、次のエピソードは北高の歴史にとつて、非常に大切なことがらであるにも拘わらず、余り一般に知られていない事なので、ここに筆を垂らすことにした。

昭和五十五年地域のかね

軽重量級三位、鈴木一好、重量級優勝、植松憲雄

またこの他に今年度の主な試合成績は次の通り

二月二十八日、東海四県選抜県予選会(静岡高)無差別級優勝 植松憲雄

三月十四日、全日本新人体重別東部予選(本校)七八キロ以下級一位渡辺将一、八六キロ以下級一位鈴木一好

三月二十八日、東海四県選抜大会(愛知県津島市)優勝 植松憲雄

四月三日、全日本新人体重別県予選会(静岡高)七八キロ以下級二位渡辺将一、八六キロ以下級三位鈴木一好、九五キロ超級優勝 植松憲雄

四月二十六日、県柔道祭東部予選会(三島南高)団体二位、個人三位高野浩明

地四万平米の買取方針が決められた。

もう一つは北高の女子生徒の増加に対する抑制である。近時北高への女子の入学希望は非常に多い。然し北高の伝統は所謂「男くささ」にある。言葉を飾つて言うならば、文武両道、質実剛健が校風である。女子生徒が増えると、どうしてもその気風が萎えてくる。先生はいろいろな意味で、男子数のシェアを保持するよう努力された。

「話には聞いていたが随分広いですね」という副知事の言葉に、新井校長はそれを姑息に否定する事なく寧ろその広大な重厚のキャンパスが北高の特長であること強調し、北高分割案を防いだという。その後しばらくして、物見山附近に西高用

珠算部 県代表として全国大会出場へ



珠算部県代表として

全国大会出場へ

部員数二〇名、女子ばかりの小さな部として

が、毎日放課後の練習は余念がない。

昨年、今年と二年連続して国民珠算競技大会静岡県予選に学校の部で優勝、静岡県代表として県下でただ一校、全国大会(京都)に出場することになった。

これからは富士宮北高珠算部の名を高めるよう、一生懸命努力してまいりますので、同窓会皆様の御声援をお願いいたします。

○国民大会出場者

本山由美(二年)

県大会個人優勝・ソロバン静岡県一

保坂千登(二年)

個人第二位

清あさみ(二年)

個人第二位

<p>洋品・洋傘・レインコート</p> <p>まるた本店</p> <p>佐野 豊 治(県商二期卒)</p> <p>富士宮市大宮町十三番六号</p> <p>電話(0549)261358八番</p>	<p>東芝エアコン・VTR部品製造</p> <p>株 佐藤工機</p> <p>佐藤 文(一商三期)</p> <p>富士宮市宮原三八七七一</p> <p>電話(0549)271303三(代)</p>	<p>スズキ全製品販売整備</p> <p>富士宮スズキ販売</p> <p>小林 章 男(県商一期)</p> <p>電話(0549)261274七</p>	<p>リーガル・トップサイダー</p> <p>靴のカワベ</p> <p>河辺 準 司(工四期)</p> <p>富士宮市宮町一〇一六</p> <p>電話(0549)271015四</p>	<p>セメント・タイル左官材料一般建築材料</p> <p>株式会社 和泉屋建材店</p> <p>代表取締役 深沢 弘(県商二期卒)</p> <p>富士宮市西小泉町一〇一</p> <p>電話(0549)331221一</p>	<p>家庭電化オーディオレコードガラス</p> <p>株 三ツツ</p> <p>代表 小林 康 治(商四期)</p> <p>富士宮市宮町四一三二</p> <p>電話(0549)271021一(代)</p>	<p>和生菓子</p> <p>桜 林 堂</p> <p>伊藤 希 一(県商一期卒)</p> <p>富士宮市西町二四一九</p> <p>電話(0549)261265一</p>
--	---	---	---	--	---	---

進学状況一覧表 ※商業科()は女子

Table with 3 columns: 大学名, 進学人数, 備考. Lists various universities and their enrollment numbers.

就職状況一覧表

Table with 3 columns: 就職先, 就職人数, 備考. Lists various companies and their employment numbers.



人物往来

挑戦こそ人生

東海ガス株式会社 取締役社長 藤原明 (工四回卒)

昭和二十五年、焼津港周辺に湧出する天然ガスを原料に、都市ガス会社が先代社長横田俊作氏の手によって設立された。藤原氏は浜松工専燃料科を卒業し、若くして創業者の一人として苦しみを味わうこととなる。彼は工業三回生として入

伝統輝く 陸上競技部

五月九日第30回県高校総体の東部予選会で陸上競技部は大活躍をした、特に棒高跳では大会新の4米70を出した土谷君をたたえたい

送れ声援 バドミントン部

五月におこなわれた東部高校大会で、個人シングルスで三人、ダブルスで二人が入賞、団体戦では優勝して県大会出場資格を得ました。

体に出場することは、「偉業」でさえあると思います。ただ、少々残念なことに生徒がこれほどがんばっているにもかかわらず、バドミントンというスポーツに一般の理解が薄いようです。しかし、これは他のスポーツ同様、かなりハードなスポーツであります。特に試合に出るための体力づくりは厳しいものがあります。今、生徒達は一丸となつて県大会に向けて頑張っております。願わくば、バドミントンというスポーツにご理解をいただいて生徒の奮闘に暖かい声援をお願いいたします。

Advertisement for various businesses including '北川製館所', '菓子食品問屋 内海商店', '洋品のヨダヤ', and 'わらわらな呉服店'.

連載 北高のあゆみ (第二回)

田園の学舎

元教諭 笹原隆次郎

創設の頃

ミレーの晩鐘にある田園風景、曲り松からは富士山が手に取るように眺められた。三軒屋の南に広がる父祖が汗を流して開墾した土地を含めて三万六千坪の広大な地所を購入してこれを大宮育英財団に託した。郷土の先覚者日本の実業家、愛教家望月軍四郎先生は、父母への孝養と郷土に対する報恩感謝の念から多

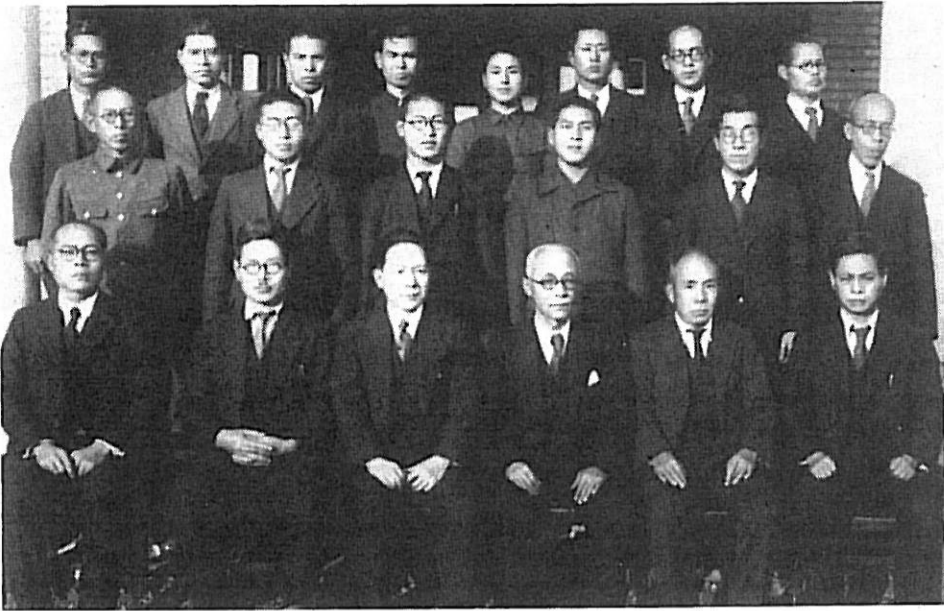
環境と根性

通学距離の長かった事は自ずから生徒の心と身体を鍛練とさせた。旧富士郡と庵原郡山梨県南部からの通学で、家から駅、駅から学校との距離が長く、徒歩か自転車や舗装されていない道路の通学は期せずして生徒の根性と身体を鍛えた。今社会の第一線で活躍している卒業生の成功している方々の要因となっている。富士登山の足ならしとして校地の周囲を一周すると千三百米を越える距離を、よく隊伍を整えて軍歌を歌い乍ら駆足した。鉄は熱い中に鍛えよと師弟共々唱え乍ら励ましあつて走り続けたものだ。現在の北高の駅伝やマラソンの覇を唱える基礎訓練が出来たものと自負している。

創設時の先生方

向って右より

- 前列 長村 政雄 佐山 雄祐 財団理事 高瀬 莊太郎 (のちの文相) 相葉 繁 深沢 洋 中列 勝本 勝太郎 名取 俊三 松井 久敏 草木 金次郎 和田 一男 岩田 英善 後列 塩川 福司 小沢 靖 浅羽 久雄 遠藤 茂樹 望月 勝彦 長田 嘉彦 中山 美次 笹原 隆次郎



草創時代の生徒たち

元教諭 小沢 靖

第一期生入学。昭和十三年一月中戦争は、除州会戦、武漢三鎮攻撃と最大にして最後の激戦が終り、国家総動員法成立。二年生になると第二次世界大戦がはじまった。

二期のB君はロマン豊かな好漢。当時の東京、神戸の商船大学が清水へ合併して設置されるや、卒業後一年、見事合格。将来は強靱なる海軍士官で軍艦へ乗り込み、太平洋狭しと米艦とわたりあう夢にふくらんでいたのに、四カ月に終戦で、学校は解散してしまつた。

恩師

小長井憲太郎先生 (昭和17.4.17-12.18.5.21)



「健康のためのゴルフなんて思い上がりですよ」健康のためなら歩くことが一番だという。二度の大病のあと、自力で健康を回復された先生のお言葉に敬服した。佐野病院のおかげです。先生はおっしゃる。病人は医者のおしやる。忠実に守る。病気がなおればその医者は名医になる。

徒動労働員で遠く川崎の東京機器へ動員された。同時に工業四期生は遠藤茂樹先生引率で平塚の国際航空工場へ。ここはプロペラ製作と空艇隊のグライダー製作であった。寮の二階には静岡高生一階の二階ベットの部屋へ二クラスが二棟に分れ泊り込んだ。毎日飛行機のエンジン部品製作である。しかし十六才、家恋し、また腹がへつてしようがない。そと夜、庭先で工員の列にもぐり込んで井一杯の雑炊にありつく。私は見ぬふりをしていた。

この頃から米艦機が飛んで来た。サイレンがせいに鳴り出す。防空壕へ入れ。私は叫ぶ。しかし入らないで空ばかり見ている者もいる。こんな場面が、何回か繰り返されているうちに東京空襲がはじまり、サイパン、レイテの戦いは敗れていった。そして翌年三月初め、動員先が吉原の日産工場に変わった。間もなく、十日東京大空襲は川崎市も爆撃された。

C君は、今も杯を傾けながら「運ですね。あと一週間居たらお駄仏でしたな」と跡片もなくなったあの焼野の話をしてくれる。彼らは、その三月二十八日四年で卒業して去つた。五期生のE君は、「近江航空(ケンシ)の改名で終戦の詔書をラジオの前で聞いたが、言葉の意味がわからなかつた。十九年、三年生の八月、一之瀬先生に連れられ園地へ動員、二十年三月にはここへ来たのです。しかし間もなく宇都宮工場から部品が届かなくなり、毎日紡織機械の破壊や防空壕掘りで、何しに来たのかわからない。ストライキでもやるか、なんて言つたものです。英語は敵

性話だからと二年で終り。一年生の時から、農家の勤労奉仕、今日は袖野、明日は山越えて稲子、一泊です。ろくに勉強しませんでした。七期生ころまでの生徒は、ほとんど大同小異。私のアルバムに一期生の卒業写真はありますが、他はぜんぜんない。修学旅行はもちろんな行っていない。私は二十年八月十五日終戦の詔書を御殿場の板妻廠舎で聞いた。県下の中等学校から一名ずつ招集され米軍が静岡県へ上陸した時生徒を率いて戦う訓練だ。手榴弾を持って戦車へ体当たりすることだけだった。沖縄はすでに米軍に占領され、静岡、清水、沼津、浜松は艦砲射撃と爆撃で丸焼け、「こんなことをしたって負けるなあ」みんなで話合っていた時だった。天皇の「戦はやめる」というお言葉を、ただ茫然と聞いていた。

北嶺会の動き

- 56.6.26 三役会 56.6.28 北嶺祭に今村会長 森本副会長出席 56.7.5 56年度総会をサンパレス橋本で開催、来賓 新井校長、柏酒教頭、ゲストTDK吉田一章部長 北嶺だより年二回発行及び同窓会費徴収決定 56.7.17 三役会、同窓会費徴収方法等協議 56.8.21 北嶺会だより第8号の編集会議 56.10.30 県高駅伝五連覇 56.11.8 県高駅伝五連覇 56.11.16 三役会 56.11.28 吉田廉元北高校長の県教育委員会表彰祝賀会、今村会長他多数出席 56.12.10 北嶺会だより第8号発行 56.12.10 第32回全国高校駅伝大会(京都市西京極競技場)に井出、大石氏他

北嶺文芸

- 多数応援にかけつける。 57.2.18 甲子園出場後援会 基金の年度内支出説明会に今村会長出席 57.2.27 北嶺会入会式、今村会長井出森本副会長出席、三興製紙顧問渡辺延次氏特別講演 57.3.1 北高卒業式、今村会長出席 57.3.6 北嶺会だより第九号編集会議 57.4.6 北高教職員歓送会 今村森本副会長出席

同窓会費

年間千円です

みんなで協力しよう

編集後記

◇いつのまにか九号となつたが若い年次の方々の参加が是非望ましい。 ◇柔道・陸上・球技が全国大会へ出場、野球で言えば甲子園である。もう少し暖かい声援が必要ではなからうか。 ◇広告については地元O Bの方々に、募集については前号同様内藤修次、大石清一両氏の御協力を得ました。厚く御礼申し上げます。